

事業所名

こども発達支援あるきっず

児童発達事業所支援プログラム

作成日

令和8 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		みんなで一歩ずつ。共に育ち、自分らしく輝く未来へ						
支援方針		応用行動分析（ABA）による行動の背景理解と、TEACCHの構造化支援に基づき、「わかる環境づくり」と成功体験の積み重ねを重視した支援を行います。また、運動療育・感覚統合・原始反射統合の視点を取り入れ、発達の土台から整える支援を行います。						
営業時間		9 時	30 分	13 時	0 分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 着替え、排泄、手洗い、食事などの基本的な生活動作を細かな手順に分け、できた行動をその都度認めながら段階的に取得を支援します。 絵カードや写真、スケジュール等の視覚的手がかりを活用し、生活の流れを分かりやすく示すことで、見通しを持って安心して過ごせる環境を構造化します。 運動遊びや感覚調整活動を取り入れ、姿勢保持や身体の使い方の基礎を育て、安定した生活リズムづくりにつなげていきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 全身を使った自由遊びや運動遊びを通して多様な身体経験を積み、基礎的な運動機能の向上を図ります。 感覚統合活動（揺れ、回転、バランス、体幹遊び等）により、姿勢保持力や身体コントロール力を高めます。 バランス運動や全身運動を通して、前庭感・固有覚・触覚への適切な刺激を提供し、身体の自己調整力を高めます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール提示や活動の構造化により、「何をするのか・どのくらい・いつ終わるか」が分かりやすい環境を作ります。 行動の背景要因を分析し、困り行動の予防と適切行動の形成を支援します。 スモールステップで課題を提示し、できた行動を具体的に強化しながら取得を支援します。 						
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードや写真、ジェスチャーなどお子様に合った伝達手段を活用し、伝える経験を積み重ねます。 欲求や選択の場面を設定し、伝えようとする行動を引き出して成功体験につなげます。 やり取り遊びや模倣遊びを通して、対人コミュニケーションの基礎を育てます。 						
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団活動を通して順番、ルール、やり取り等の社会的行動を具体的に示し、成功体験を重ねながら社会性を育てます。 活動の流や約束事を視覚的に提示し、不安の軽減と集団参加を促します。 望ましい関わり方ができた際はすぐに認め、人と関わることへの安心感を育てます。 						
家族支援		保護者様からの相談に応じ、家庭での関わり方や環境調整について助言を行い、心理的負担の軽減を図ります。また、支援内容や成長の様子を共有し、関係機関との連携や制度に関する情報提供を行いながら、安心して子育てが継続できるよう支援します。			移行支援		就学を見据え、お子様の発達状況や支援方法について保護者様と共有しながら、学校や関係機関との情報連携を図ります。また集団生活への適応に向けた支援を行い、就学後も安心して生活できるよう移行期の支援を行います。	
地域支援・地域連携		関係機関や医療機関、相談支援専門員等と連携し、お子様の発達状況や支援方針の共有を行いながら一貫した支援体制を整えます。また、地域の社会資源や制度に関する情報提供を行い、家庭が地域の中で安心して生活できるように支援します。			職員の質の向上		就学を見据え、お子様の発達状況や支援方法について保護者様と共有しながら、学校や関係機関との情報連携を図ります。また集団生活への適応に向けた支援を行い、就学後も安心して生活できるよう移行期の支援を行います。	
主な行事等		季節に合わせた行事や製作 園外活動、避難訓練等						